

## 弊社図書館システムにおける個人情報の混入及び流出について（お詫び）

2010年9月28日

このたび、弊社が開発、販売する図書館システム「MELIL/CS」（メルルシーエス）のプログラムライブラリにおいて、岡崎市立中央図書館利用者様の個人情報を他の37の図書館様に混入させたことが判明致しました。当該情報については、既に削除を実施済みです。

一方、削除前のデータが弊社のパートナー会社が行なったシステム保守操作の誤りによりインターネットからアクセス可能な状態となり、2ヶ所の図書館のWebシステムから個人情報がダウンロードされたことを確認致しました。

関係する皆様には多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを、深くお詫び申し上げます。

### 該当する個人情報

岡崎市立中央図書館様の利用者様のうち

- 延滞予約本リストデータ 159名分（2005年6月末時点）  
氏名、年齢、電話番号、貸し出し図書名、貸出日、返却予定日など
- 予約取置本リストデータ 4名分（2005年6月末時点）  
氏名、電話番号、予約図書名、予約日付、ストック日付など

## 1. 経緯

岡崎市立中央図書館様のシステム調整・試験を行った際、プログラムライブラリの修正結果を元のプログラムライブラリに反映させました。

岡崎市立中央図書館様の個人情報データが残存していることに気付かず、製品版として、他の図書館様に納入しておりました。

## 2. 現時点での処置状況

混入を確認した37図書館様については、既に当該データを削除しております。

## 3. 今後の対応について

個人情報が混入・流出した163名様につきましては、岡崎市立中央図書館様とご相談のうえ早急に対応させていただきます。併せてインターネットで更なる拡散が進行しないよう、専門機関と相談のうえ対応致します。

今回の個人情報の混入・流出につき、改めて深くお詫び申し上げると共に、個人情報の取扱いの重要性を再認識し、更なるセキュリティ強化を図ると共にプログラムライブラリの管理手順の再点検を含めた再発防止に取り組んで参ります。

## お問い合わせ先

このプレスリリースに関するお問い合わせは、[お問い合わせフォーム](#)よりお願いいたします。